

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、現状では口頭での話し合いに留まっており、今現在の事業所としての方針の明文化ができていない。	利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、グループホームまのとしての方針を明文化し、入居者・家族・事業所それぞれが納得できるよう十分な話し合いができる。	重度化や終末期に向けた方針を策定し、再度入居者・家族を交えて話し合い、方針を共有する。	8ヶ月
2	26	入居者・家族・職員合同で話し合う時間が定期的にもとず、アセスメントが不十分であった。	アセスメント、モニタリング(評価)の充実。	入居者・家族・担当職員合同のサービス担当者会議を定期的開催する。 家族が島外で生活している方へは文章等で意向を確認する。	6ヶ月
3	5	市の担当者に運営推進会議への出席を要望しているが、実現できておらず連携強化の必要性がある。	真野行政サービスセンターとの連携が強化できる。	市の担当者を交えて運営推進会議が開催できるよう、継続して市役所へ働きかけを行なう。	12ヶ月
4	35	災害対策として、地域との協力体制が不足している。	災害時における地域住民との協力体制が構築できる。	真野新町地区自主防災会の訓練に参加する。 地域住民・地元消防団との協力体制の構築。	8ヶ月
5	34	応急手当や初期対応の訓練が不足している。	各種講習や訓練を通じて、職員の実践力向上を図ることができる。	救急救命講習の継続的な受講。 急変や事故など実際の状況を想定した応急手当の訓練を定期的実施する。	6ヶ月